

しべつ

昭和57年

1/1

賀正



トドワラの夜明け

西山 陽一氏 撮影(住吉町)

— 主な内容 —

年頭のあいさつ	2~6面
白樺と針葉樹に囲まれた金山スキー場・せせらぎの宿へどうぞ	7面
町に20万円を寄付(燃料小売店4社)	8面
歳末見舞金を配分(町社会福祉協議会)ほかおしらせ	8面

— 人のうごき —

〈12月1日現在〉

世帯数	2,188世帯(△6)
人口	7,369人(△14)
男	3,676人(△13)
女	3,693人(△1)
※()内は前月比	

とうございます

標津町長

小野幸三



厳しい中にも昭和五十七年の新しい年を、皆様と共に迎えることのできましたことをお慶び申し上げます。

幾多先人が築いた古き良き歴史と、未来に向けてたくましい歩みを続ける標津町の進路をおあづかりする町長として、私は、その責任と使命の重大さを銘肝し、町政推進に努めてまいりました。

しかし乍ら、過ぎ去った昭和五十六年に想いをおこすとき、大型プロジェクトとして国・道に働きかけをしてきた標津川のさけ・ます増殖モデル基地の建設は、本年

度国における調査費が計上され、構想の段階から実施への展望が開かれてきたことは朗報の一つではありましたが、反面、国鉄・営林署問題は、当面統廃合を回避でき

たものの先行き相も変らず厳しく、また、チーズ工場の川北誘致運動は、ついぞ日の目を見ることがなく終えんをむかえ、加えて、町全体を覆う不況沈滞ムードは、これをぬぐい去るには至らなかつたなど、今後に残された課題は多いといわざるを得ません。

ひるがえって、低成長を余儀なくされたわが国経済を顧りみます

に、長く暗いトンネルに突入したまま、未だもってこれを抜け出せず、こうした影響をまともに受けて昭和五十七年度の国・道の予算編成方針は、ゼロ・シーリング(伸び率ゼロ)の厳しい状況の下にあります。本町においては、町財政の地域に与える影響を熟慮し、積極型予算の展開に努めておりますが、厳しい状況をふまえ、新しい年に即応した新しい感覚で、今年ためて、惰性を排し、効率的・重点的な行財政運営に心するものであり、それには、**町政の主人公は、あくまでも町民である。**との理念で、各地域の方がたとの話し合いをいっそう深め、将来の標津町には何が必要かを、適確に判断し、必要な施策については勇断をもって実施する所存であります。

新年度は何よりもまず、地場産業開発とこれに関連する企業誘致に積極的に取り組み、雇用開口の増大による過疎化に歯止めし、町の活力づけを最重点に、「さけ、ますモデル基地建設」、近代的な農村を創造するための「農村総合整備事業」の推進、内外の評価の高まってきた「ポー川史跡自然公園」の充実を期するときでもあり、ま

た、交通の拠点であり観光施策の要となるべき「駅前開発」の計画具現化と、近代的市街地形成を旨とす「標津市街国道拡幅事業」の仕上げの年でもあります。さらには、金山地域の「温泉開発」、「スキー場」の充実が注視され、将来にあつては、「文化会館」、「北方水族館」の建設を夢見ております。

このように、より高いまちづくりの理想からみますと、まだまだ宿題は多い訳ですが、活気に満ちた豊かな郷土を建設するには、内政の要となるべく職員と一丸となつて、町民の生活を肌で感じ、問題解決者の役割意識をもつなかで、なされる最善をつくし、難局を乗り切る決意であります。

以上述べて参りましたが町づくりの基本目標を基軸に、人間尊重を基本理念とした、**和やかなるかに、活力に満ちた、住み良い、温かな町づくり**に全力を傾注する施政の一端を披瀝し、心からなるご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

拙筆にあたり、皆様の皆様を祈り、お仕事のご繁昌とご一家のご繁栄を願ひ、年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとう

標津町議会

議長 大沼善雄



新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春を、お家族揃って迎えられたことと存じます。

激動の一九八〇年代と言われておりますが、昨年も正にそのとおり推移したようであります。経済不況は長引き、商工業は依然として低迷を続けています。農業についても、四年連続の乳価の据置き、漁業も、北海道は空前の豊漁といわれながら、本町は、ノルマ達成者ゼロという不振に終るなど、本町の経済全体が停滞した年でありました。

時あたかも、昨年暮れ国は行政改革を推進することを決定いたしました。行政改革のねらいは、国、地方を通じて財政の簡素効率化を実現、公共団体の機能を縮少し、

民間の活力を拡大することであります。しかし、政府は、当面国の財政再建に重点を置いた感があり、歳出の大巾削減をしようとしています。これは補助金の削減につながり、地方へのしわ寄せ、弱者へのしわ寄せが心配されます。

これらのことを考え合せると、明年度の本町の財政運営は相当厳しいものになりそうです。歳入では農業、漁業の不振による税収入の落ち込み、国からの補助金削減等による歳入不足が予想されます。一方歳出では物価、人件費の高騰などによる経費の増大など、頭の痛いところです。

町長も、十二月議会で、明年度は新規事業見送りの態度を表明しております。国の行政改革は短期間で終るものではありません。地

方団体も長期にわたりその影響を受ける覚悟が必要です。

本町も、国の行政改革を他山の石として、この機会に独自の行政改革に取組み、組織の見直し、既存施設の有効的活用、予算の効率の運用など徹底した改革に積極的に取り組んで、この難局を乗り切らなければならぬと考えます。

さて、本年は、かねてからの懸案でありました駅前開発が着手されます。又、製網会社の進出も予定されているなど明るい見通しもあります。駅前開発は、旧漁組の事務所を中心として駅前ターミナルを整備し、本町を通過する六〇万人の観光客の足を止める切り札と考えられています。この施設が本町の観光、及び交通の拠点として飛躍する足がかりとなるよう大きく期待されています。

長い不況からの脱出を願ひ、農業、漁業、商工業、林業など産業の安定的振興を図り、活気ある町づくりを議員一同真剣に取り組んで参る所存であります。町民各位のご叱正をお願い申し上げます。皆様の二多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

「社会人として」 新しい門出

成人式は一月七日

先月号に、昭和五十七年の成人者を紹介しましたが、とくに、本町での成人式に参加を希望する方がおりますので紹介します。先月号の掲載で、氏名に誤りがありません。訂正しておわびいたします。

標津町成人式に 参加を希望する方

- 滝田 秀幸さん
- 吉田 孝典さん
- 吉田 健一さん
- 中島 和昭さん
- 大山 修さん

氏名が間違っていた方

- 双葉町
- 藤本 豊さん
- 藤山 豊さん
- 西古多穂
- 黒沢 穂子さん
- 黒沢 千恵子さん
- 茶志骨バイロット
- 上田 明子さん
- 上田 朋子さん

とうございます

路上駐車は除雪作業をおくらせる最大の原因です 絶対にやめましょう

標津町農業協同組合

組合長理事

吉田昇



新年明けましておめでとうございます。町民のみなさまには益々ご健勝で希望に満ちた新年をお迎えのことと存じ心からお慶び申し上げます。

平素、農協運営につきましてもご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は私共酪農にとって乳価の連年据置き、生産資材を始め諸物価の高騰、需給不均衡に起因する生乳生産計画等波乱含みのスタートでした。これに加え、長雨、低温続きなど異常気象により乳牛の粗飼料不足や質的低下を来たなど多難な年でありました。

このような厳しい環境下でありましたが、牛乳生産では四万トンを超え、計画をやや上廻る実績をみる事が出来ました。しかし一

方畜肉個体販売では不振であり、とりわけ初妊牛、肥育素牛の価格低迷、清流不振が影響し、酪農経営にとって大きなマイナス要因となりました。

ご承知のように酪農は多額の投資を必要とし、このため負債償還が経営上の大きなネックとなっておりますが、各関係機関のご指導ご協力のもとに酪農経営負債整理資金融通事業等により一部長期低利への乗り替えを行うなど対策を講じて参りました。

牛乳消費拡大運動については、全道の酪農民が自ら資金を拠出し運動を展開して三年目に入り昨年は全国的な夏場の気温上昇もあり、飲用牛乳の消費が大きく伸びた結果、牛乳、乳製品の民間過剰在庫も無くなりやや明るい材料も出て

きました。

最近の酪農情勢は、国際化社会・経済動向の影響を大きく反映する時代を迎えました。従って問題の多くは、単に農業だけで解決できないという性格のものが目立って参りました。このことは農業も常に新しい内外の環境や条件を見極め、事態に適合した諸対策を講じなければならぬ事を示唆していると言えましょう。

昨今、各界に於ける農業批判などありますが、農業は他産業と同一視出来るものではなく、長期的にも国際的にも食糧は不足して参ります。私共酪農者は、国の根幹をなす食糧生産という社会的使命を認識し、努力して参りたいと思っております。

本年も引き続き極めて困難な状況下でのスタートですが、ひとり酪農だけが厳しいものでなく、今後さらに生産性の向上、経営コストの引下げなどあらゆる努力を傾注し、町民各位、他業種との協調を旨とし最善をつくして参りたいと存じます。

本年もよろしくご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

昭和五十七年

今年はいぬ

戌年

いはるはガルトの一枚目は、ご存じ「犬も歩けば棒(ぼう)にあたる」。

これは「物事をなそうとする者は、それだけ災難に遭うことも多い」という意味とも、「やってるうちには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味だともいわれています。

今年、戌(イヌ)年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし——といきたいものです。

犬といえば、知恵・勇気・誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲爺(はなざかぢい)」に登場するのも、そういう大犬たちです。また、速く「日本書紀」には、白犬が倒れた主人を守って餓死するまでそばを離れず、その心を哀れんだ天皇の命で、主人と並べて墓に葬られたという、忠犬ハチ公

新年あけましておめでとう

標津町商工会

会長 足田敏一



新年明けましておめでとうござ
います。

町内の皆様方には、新しい年を
希望をもってご健勝でお迎えにな
られたことを心からお慶び申し上
げます。

さて、最近における本町経済の
動向は、一次産業の生産不振、個
人消費の低迷、さらには住宅投資
の落ち込みなどにより停滞感を一
層強めており、中小企業を取りま
く景況も企業倒産の発生をみるな
ど、非常に悪化の傾向にあると言
わなければなりません。

予想される本年の経済も、国際
的には、ますます悪化する貿易摩
擦、発展途上国の追い上げなど、
また、国内的には需要構造の変化、
消費の停滞など多くの問題が山積
し、これらが町の経済にも直接波

及し、依然として厳しい状態が続
くものと覚悟をしなければなりま
せん。

しかも、国においては、いよいよ
よ本年より行政改革の第一歩を進
めることになり、これらが地方行
財政、経済の上にとどのような影響
をもたらすことになるのか、我々
は強い関心をもって対応してい
なければならぬと思われま
す。

また、我々経済にかかわるものは、
かつての高度経済成長の夢は捨て、
現在の低成長に対応できる経営体
質をつくりあげることが最も肝要
であり、その手段は、他に依存す
ることではなく、自らの経験より
得た教訓を基調に、いわゆる自助
自立の精神に立脚した強固な改善
策でなければならぬと思うので
あります。

地域づくりの基本目標は、「個

償却資産の申告は一月一日までに済ませてください

性豊かな地域社会の発展」と「調
和のとれた魅力ある地域環境の創
立」であり、商工会としてもこの
ために最善の努力をしていかなけ
ればならないところであります。

特に昨年は、商工会法の一部が改
正になり、商工会も、地域経済は
もとより、地域住民の福祉の増進
に寄与することも大切な事業と定
められたのであります。我々は、
なお一層、商工会の發揮すべき機
能と担うべき役割をじゅうぶんに
自覚し今後に処してまいりたいと
考えております。

標津の商店街も、町ならびに関
係機関の格別の計らいにより環境
の整備が進んでおり深く感謝を申
し上げる次第です。今後は、個々
の経営体質の改善に各自が独力を
していかなければなりません。ま
た、川北商店街についても、更に
町のご支援をお願いしていかなけ
ればならないところでありますが、自
らも自主自律の精神をもって努力し
ていかなければならないと考えて
おります。

今後とも一層のご叱正とご鞭撻
を心よりお願いいたし、最後にな
りましたが、住民皆様のますます
のご健勝、ご繁栄をお祈りし、新
年のご挨拶と致します。

の先祖みいたな話が記録されてい
ます。

そんなはるかな昔から、犬は人
間の大切な「協力者」だったわけ
です。いまも狩猟犬、牧羊犬をは
じめ、新しいところでは盲導犬、
救助犬、警察犬などとして優れた
能力を發揮しています。

ところで、妊産婦の帯祝い、「戌
の日」が選ばれるように、犬は安
産・多産の象徴になっています。
では、イヌ年生まれの人ほどのく
らいいるかといいますが、意外に
少なく全国でざっと八百七十四万
人(総理府統計局調べ)。日本の総
人口を十二支別に分けてみますと、
十一番目になります。ちなみに、
最も多いのがサル年生まれの人で、
約千三十六万人、いちばん少ない
のがトリ年の約八百三十六万人で
す。

そんなわけで、十二支も一種の
「生活美学」とみれば、なかなか
趣深いもの。犬の特徴にあやかつ
て、ことしもすばらしい年にした
いものですが、「一犬虚に吠(は)
ゆれば万犬実(まこと)に伝(つた)う」のことわざ
もあります。自分の目で事実を見
定め、自分の心で判断するように
心がけ、軽々しい付和雷同は避け
たいものです。

新年あけまして おめでとうございます

標津漁業協同組合

組合長理事

馴山 猛



たばこは町内で買いました。10本が300円、55年度で3、150万円が町の収入

町民の皆様、新年明けましておめでとございます。

昭和五十七年の輝かしい新春を、町民の皆様とともに迎えることが出来ましたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、昭和五十六年を顧みますと、漁業をとりまく環境は厳しく多難な年でした。

本年は、諸物価の高騰に伴い、漁業資材、人件費などの値上がりによって生産コストが上昇し、反面、魚価は低迷し、漁業経営の将来は、逼迫の状況が予想されます。

このような中において、今後、漁業が食糧産業として、また、本町の基幹産業として恒久的な発展をとげるためには、資源の維持増大

が重要であるとともに、その資源の有効な活用によって経済効率を上げることが重要課題であると思えます。

本年は、昨年にも増して漁業情勢は厳しくなることが予想されますので、これに対処するためには組合員の心と力の結果によってこの難局を打開して参らなければならぬと思えます。関係機関、関連産業と綿密な連携のもとに、ご指導を賜りながら事業推進に役職員が一体となって鋭意努力して参りたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、町民皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

歳時記

初もうで



「せっかくの初もうでだから、おさい銭は千円のもりだったが大混雑でさい銭箱まで近づけず、お札を投げて届かないから、百円玉を高く投げてきた」とは、ある初もうで客の話。

昨日一月一日〜四日間の初もうで客は、全国で約七千万人と前年に比べて約四百六十万人も多く、史上最高を記録しました。これは、国民十人のうち六人が初もうでをした勘定になります（警察庁調べ）。もともと、このところ各地で七福神もうでに人気が出てきているので、一人で七カ所回った人もいるわけですが……。

初もうでは、正月にその年初めて神社やお寺に参詣することですが、昔は、恵方（えほう）まいりとか恵方もうでと言って、その年の「吉の方角」にある神社仏閣にお参りすることが多か

ったようです。

恵方とは、中国から伝わった十干十二支の思想に根ざすもので、その年の干支（えと）によって「吉の方」と決められた方角を言います。そこで、その方角から幸運がくる、つまり歳徳神（としとくじん）が訪れてくると信じられていました。こうしたことから、その年の「吉の方角」にある社寺にお参りして、その年の福徳を祈ったのです。しかし、最近では、交通の便が優先し、とりわけ都会に住む人たちは、終夜運転をしている沿線の神社やお寺に人気があるようです。また、マイカーで出かけて、初日の出を拝んでから参詣するという人も増えているようです。それはともかく、ことしも良いや年でありませうに――。

白樺と 針葉樹に囲まれた 金山スキー場。 せせらぎの宿へどうぞ

五百円

金山峡温泉せせらぎの宿も、去年の一月十三日オープンし、十月、十一月の二月間機械故障のため休業し皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、今は故障も直り営業致しております。併せてご利用ください。

営業時間

午前九時から午後九時まで

使用料 (大広間)

- 大人 (中学生以上) 二百五十円
- 子供 (小学生) 二百円
- 老人 (六十五歳以上) 二百円
- 幼児 (小学生未満) 百円
- ※個室もあります。また、五月三十一日まで暖房料として一人五十円いただきます。
- 入湯料 大人 百五十円

今年で三シーズンを迎える金山スキー場の安全祈願式が先月十九日行われました。

昨シーズンは、五万一千人のスキーヤーでにぎわい、今シーズンはこれを上回ることが予想され、また、皆さんの要望などもあり、今までのゲレンデを改修し、さらに上級者向けに林間コースを増設しました。

営業時間は午前九時より午後四時まで、リフト利用料、貸スキー料はつぎのとおりです。

リフト利用料

- 大人一回券 百三十円
- 大人回数券 (十一枚) 千三百円
- 子供一回券 八十円
- 子供回数券 (十一枚) 八百円
- 貸スキー料 二時間千円、三十分超すごとに

年金コーナー

個人年金は私的年金

個人年金は、従前、信託銀行、生命保険会社等の民間金融機関で取り扱っていましたが、昨年九月からは郵政省も加わり話題になっています。

この個人年金は、国民年金や厚生年金などの公的年金とは別に、さらに老後の備えを希望する方が任意に契約する貯金で、郵便年金も同じく、「私的年金」です。

個人年金は、取り扱い金融機関によって、それぞれ内容は違いますが、その多くは長期の貯蓄の受け取り方法を、年金に似た型で分割で受け取るようにしたもので、すべての年金給付は、加入者の納めた保険料の掛金を、個々人の生活設計に合ったかたちで自由に選択できるようになっています。

どちらが有利か 国民年金と 個人年金

国民年金と、個人年金はどちらが有利かという話題をよく耳にしますが、個人年金は自らの努力で

スーム・インサークル

①
標津町
ボランティア・クラブ



私たちのクラブは、現在二十一人で活動しています。昭和五十一年、標津町青年ボランティアクラブとして発足しました。

去年十二月に、「青年」を削除し「スーム・インサークル」として、広くボランティア活動を行おうと再出発しました。

活動の中心は町づくりで、去年から五カ年計画で町の木「ななかまど」を町内いっぱいにしようと植樹しています。そのほかに、ゴミ拾いなど町をきれいにする活動を主に行っています。去年は、サケのそ見学でにぎわった蕨別川河口周辺の清掃をしました。あき缶や紙くずが、大きなビニール袋十六にもなり、「きれいな町・標津町」をめざす私たちにとっては、まことに悲しいことでした。

現在、きれいな町づくりをしようとして今後の活動を計画中です。

入会希望の方は、役場②2131星京子か山口将悟までどうぞ。

健康相談日 一月八、二十一日 午前九時から午後三時まで 役場健康相談室 (基幹集落センター)

町に二十万円を寄付

燃料小売店四社



去る十二月十五日、町内で燃料小売店を経営する太平洋石油販売(株)標津営業所(所長・森常雄)、(株)近藤商店(代表取締役・近藤忠男)、標津アポロ石油(代表取締役・後藤十郎)、(株)三共燃料(代表取締役・高橋良子)の四社が小野町長を訪れ、町のために役だててくださると二十万円を寄付されました。

これら四社は、本町が推し進めている新生活運動をご理解くださり、従来行ってきたお客様への歳暮を廃し寄付されたものです。

歳末見舞金を配分

町社会福祉協議会

昭和五十六年度の歳末見舞へみなさんの善意で二百八十三万七

広報しべつ の表紙写真を皆さんから募集します くわしくは 総務課広報係まで

千七百三十九円(十二月十八日まで)にもなりました。厳しい社会情勢にもかかわらずご協力くださいましたことに深く感謝申し上げます。

当協議会では、先月十五日に理事および評議会を開催し、つぎのように配分致しました。

- ▼要保護家庭分(六十一世帯) 六十二万三千元
- ▼独居老人分(二十八人) 十四万円
- ▼長寿者分(八十八歳以上の方十二人) 六万円
- ▼長期入院者分(六カ月以上の方四十九人) 二十四万五千元
- ▼長期自宅療養者分(六カ月以上の方二十一) 十万五千元
- ▼社会福祉施設入所者分(三十六人) 十八万円
- ▼福祉灯油支給者分(要保護家庭および独居老人八十九世帯) 四十六万九千九百二十円
- ▼北海道共同募金会へ 百一万四千八百十九円

※このほかに、町では、生活保護世帯に歳末見舞金を、要保護家庭と独居老人に福祉灯油を支給しました。

農業基本調査に

べつ協力ください

北海道農業基本調査が二月一日現在で実施されます。

この調査は、北海道農業の実際を把握して農政の重要な基礎資料とするものです。

調査の対象となる農家および農家以外の農業事業体には、調査日の前後に調査員が訪問しますのでご協力ください。

調査についての問い合わせは、役場総務課企画調査係 ☎2131 内線105までどうぞ。

書き損じても拾てないで



官製はがきで、書き損じたものや多く印刷しすぎてしまったあいさつ状などは、郵便局に持っていき、新しいはがきと取り換えてくれます。

交換手数料は、次のとおりです。

- 通常はがき 一枚五円
- 往復はがき 一枚十円
- このほか、ミニ・レターと呼ばれる郵便書簡も一枚十円で交換していただけます。

ただし、はがき、郵便書簡とも、切手に相当する部分を汚したり、傷つけたりしたものは、交換できません。

寄付

ありがとうございました

社会福祉協議会へ

香典返しを廃し

齊藤 勝男 東川北

中島 輝 川北旭町

全快祝を廃し

齊藤 稔 古多棟

今野 武右衛門 崎無異

活動資金として

山崎 勝行 住吉町

標津町女性ドライブクラブ

聖友 標津

中標津町ロータリークラブ

(敬称略)

小遣いを寄付

宗形正男さん(桜木町)の長男 努くん六歳が、「心身障害児のために使ってください」と、今まで貯金していた小遣いを標津町手をつなぐ親の会に寄付しました。

神内正義会長は、「六歳の努くんの善意に感心しました。会の活動の励みになります」と話していました。

1・2月の不燃物収集日

一月六日(水)

二月三日(水)

一月七日(木)

二月四日(木)

新川上町・川上町

栄町・緑町

弥栄町

一月八日(金)

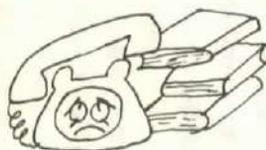
二月五日(金)

本町・鳩ヶ丘町

双葉町・桜木町

住吉町・東浜町

先月号の年末年始の業務で、燃えないゴミの収集日が一月四、五、六日となっていたのは、一月六、七、八日の間違いました。訂正しておわびします。



●受話器は きちんとかけましょう 年賀状のお礼は電話でどうぞ

電話局だよ NO.6